＜「データベースシステム」の概要＞

開発の目的

日本各地に在住する外国人が増加し、日々の生活に欠かせない日本語習得への支援が求められています。このような現状で今最も必要とされているのは、それぞれの地域で、それぞれの学習者が必要とする日本語を学ぶための教材です。

（公社）国際日本語普及協会は、平成10年度より文化庁からの委嘱を受け、「リソース型生活日本語」を開発、制作しました。「リソース型生活日本語」は、日本語支援者の方々がその地域にあった教材を作成するための素材を集めたものです。日常の生活で遭遇する場面をできるだけ多く想定し、そこで「日本語を使ってしなければならないこと」を抽出し、データベース化しました。

開発の経緯

平成10年度

・開発のための調査研究

これまでに各地域で開発された教材39冊をはじめ、地域の日本語支援に関する先行研究について調査研究を行いました。

平成11年度

・データベースの目次の作成

調査研究をもとに「リソース型生活日本語」の目次を作成しました。

目次は「日常生活で遭遇する場面で、日本語を使ってしなければならないこと」すなわち「行動」を単位として編成いたしました。さらに、それぞれの行動の目標を達成するのに必要な日本語の「構造（文型）」「機能」「技能」からも検索できるようにいたしました。

・データベースの作成

目次で取り上げた場面で使われる日本語のサンプルを収集し、教材素材ページのデータベースを作成しました。

平成12年度

・「リソース型生活日本語データベースシステム」の開発

「リソース型生活日本語」をウェブサイト上での公開を目指し、多くの支援者が活用できる体制づくりを行いました。

平成 13 年度

・「リソース型生活日本語」の公開

「リソース型生活日本語」をウェブサイト上で公開しました。

平成 22 年度～令和 5 年度

・「リソース型生活日本語」の改訂

多言語翻訳目次を入れたり、在留管理制度の変更に伴う修正等を随時行いました。

平成 27 年度～令和4年度

・動画「日本の生活～リソース型生活日本語より」の公開

かねてより開発を進めていた動画「日本の生活～リソース型生活日本語より」を AJALT HP で公開しました。その後、動画の名称を、「日本の生活～リソース型生活日本語より 13 場面」に変更し、YouTube での公開に切り替え、AJALT HP とリンク機能で関連付けました。

令和６年度

・「リソース型生活日本語」のレイアウト改訂

現在のインターネット環境に合わせ、レイアウト、音声等の仕様を一新しました。

・「教材素材ページ」の見直し

公開以来、年月を経て時代にそぐわなくなったデータを見直し、改訂しました。

著作権

「リソース型生活日本語データベースシステム」の著作権は（公社）国際日本語普及協会（AJALT）に属します。このデータベースは、日本語支援者の方々が各地域の学習者に合わせて自由に活用していただけるよう、著作権フリーで公開しています。

登場人物

地域在住のさまざまな外国人の生活を想定するため、「リソース型生活日本語」に登場する人々を次のように設定しました。

家族1　フィリピンから嫁いできたマイさんとその家族（東北地方在住）

田中　マイ	28 歳	主婦
田中　一郎	43 歳	マイの夫　田中家の長男　農業＋電気工事会社　会社員
田中　春夫	70 歳	マイの義父　農業
田中　夏子	71 歳	マイの義母　農業
田中　二郎	38 歳	田中家の次男　郵便局局員

家族2　日系ブラジル人ホセさんその家族（関東地方在住）

木村　ホセ	37 歳	日系人　サンパウロ出身　山田パーツ（車の部品工場）　会社員
木村　マリア	34 歳	妻　ブラジル人　スーパー　パート従業員
木村　サム	13 歳	長男　市立旭中学校　中学生
木村　メイ	8 歳	長女　市立東小学校　小学生
木村　ラン	4 歳	次女　おひさま保育園　園児

単身者（東京都在住）

グエン　バン　タン	28 歳	ベトナム出身　レストラン　従業員